

件名：海水津波の沿岸構造物への作用および寒冷沿岸域における消波構造物に係る実験補助

	質 問 事 項	回 答
1	別紙のとおり	各実験項目の直列実施は可能である。 なお、実施順については、監督職員との協議により決定するものとする。

**海水津波の沿岸構造物への作用および寒冷沿岸域における消波構造物に係る実験補助
実施体制と履行についての質問**

1.質問内容

設計書の特記仕様書 6.の表 (表-1) において、実 5-1 と実 5-3 の想定実施時期は 9 月上旬から 10 月下旬まで平行履行となっています、役務工期までの履行可能日数は 112 日であり、各補助作業の履行日数は、実 5-1 は 34 日、実 5-2 が 8 日、実 5-3 が 32 日、合計 74 日となり、役務工期内に各補助作業を直列履行することが可能な条件となっています、実 5-1 と実 5-3 の履行時期を変え、実施体制 A のみで全ての補助作業を下記 3.の直列履行した場合の例のように、直列履行することが可能でしょうか

表-1 実施場所および実施体制 (特記仕様書より)

項目	補助作業名	施設名	標準実施体制(参考)		想定実施時期
			(*実施体制Aと実施体制Bの人員は兼任しないことを想定)		
実5-1	海水の津波による沿岸構造物への作用に関する実験補助	2F小型二次元断面水路(西側) 1F大型平面水槽	実施体制A	実験技術員(測量技師補相当):1名 実験技術助手(測量助手相当):1名	R4.9月上旬~ R4.11月上旬
実5-2	海水の沿岸構造物への作用に関する実験補助	低温実験室	実施体制A	実験技術員(測量技師補相当):1名 実験技術助手(測量助手相当):1名	R5.1月中旬~ R5.2月中旬
実5-3	複雑な海底地形に位置する護岸の越波対策に関する実験補助	2F小型二次元断面水路(東側)	実施体制B	実験技術員(測量技師補相当):1名 実験技術助手(測量助手相当):1名	R4.9月上旬~ R4.10月下旬

表-2 数量 (日数)

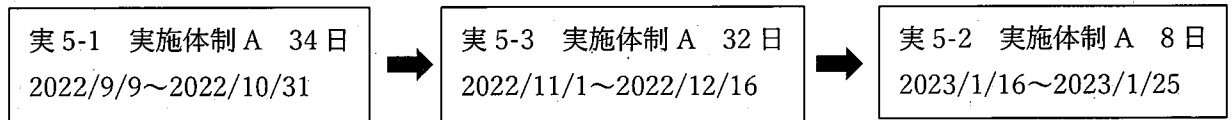
項目	補助作業名	人員数	数量
実5-1	海水の津波による沿岸構造物への作用に関する実験補助	2 人	34 日
実5-2	海水の沿岸構造物への作用に関する実験補助	2 人	8 日
実5-3	複雑な海底地形に位置する護岸の越波対策に関する実験補助	2 人	32 日

2.役務工期日数と数量

令和 4 年 9 月 9 日~令和 5 年 2 月 28 日の履行可能日数 (開庁日) は 112 日間
実 5-1、実 5-2、実 5-3 の合計数量 (日数) は 74 日間となる。

3.直列履行した場合の例

例 1



例 2

